

2017年5月15日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部



世界最大のIT関連専門展示会「CeBIT」が変わる

2018年から6月開催に移行し、ジェネレーションY世代にフォーカスした展示へ

～デジタル時代にふさわしい大学キャンパスのような会場設営など全体構成を刷新～

2017年3月に日本がパートナーカントリーとして日本企業約120社が出展した「CeBIT」(ドイツ・ハノーバー)は、2018年から6月開催となり展示会の構成も大きく変わります。「CeBIT」は、B to BのITソリューションに関する世界最大級の国際情報通信技術展示会として、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、クラウド、セキュリティ等の先端技術及びそれを活用した事例の紹介を通じて、この分野の発展と拡大に寄与しています。世界約70カ国から約3,000社が出展し、世界市場の動向に大きな影響力をもつ国際見本市として毎回注目を集めています。

「CeBIT」は2018年開催から、デジタル時代推進の牽引車ともなっている“ジェネレーションY”に向けて、展示会の構成を大きく刷新します。また、大学のキャンパスのような新しい会場設営を活用した魅力あるテクノロジーの展示にふさわしく、開催時期を従来の3月から、初夏の清新な6月に移行します。刷新後初となる「CeBIT2018」は、2018年6月11日(月)～15日(金)に開催します。

■デジタルによる既存ビジネスモデルやシステムの破壊の中で「CeBIT」も進化

デジタル産業は、トランスフォーメーションの波を経済の各分野にくまなく送り出し、既存のビジネスモデルやシステムを目まぐるしいペースで破壊しています。経済が新たな課題に直面する中であって、「CeBIT」も進化することが求められています。今回の刷新に当たっては、「CeBIT」出展社委員会代表企業との間で数か月にわたる徹底的な議論を行い、コンセプトづくりを行いました。デジタル化の魅力と可能性をより広い層に届けていくことで、ビジネスや社会全体のデジタル・トランスフォーメーションの強力なファシリテーターの役割を果たしていきます。

■IT産業を支えるジェネレーションYに向けて情報発信

一般的に1980年代～90年代に生まれた世代を指すのが“ジェネレーションY”です。1960年代～70年代に生まれた“ジェネレーションX”とは消費行動やライフスタイルが異なり、インターネットの爆発的普及を10代の頃に経験したため、インターネットを駆使するなどデジタル化した生活に馴染んでいるのが特徴です。現在、ITに関わる産業は、消費・利用、技術開発など多方面で“ジェネレーションY”に支えられているといわれています。「CeBIT2018」は、いまやデジタル市場を席卷、牽引している“ジェネレーションY”に向けて情報発信することで、出展企業

や来場者が満足できる成果と付加価値をお届けします。

■「CeBIT2018」の基本構成

生まれ変わった「CeBIT」は、大学のキャンパスのような新しい会場構成で、エキスポ・キャノピーをハブとした屋外会場を取り巻くように展開します。屋外会場の中央には、集会、展示、屋外デモ、対話、パーティ形式の懇親などに利用可能な「d!campus（ディ！キャンパス）」を設置しました。「d!campus」を取り囲むホールでは、3つの柱である「d!conomy（ディ！コノミー）」、「d!tec（ディ！テック）」、「d!talk（ディ！トーク）」が催されます。

「d!conomy」展示会は、デジタル・ソリューション・プロバイダーが、民間や公共セクターの顧客と商談を行う場になります。革新的技術、研究機関、スタートアップ企業は、「d!tec」という最新テクノロジーの祭典で脚光を浴びることになります。そして、「d!talk」プログラムでは、会場各所で開催されるさまざまなカンファレンスやワークショップ、基調講演などを通じて、対話や議論、知識共有のチャンスが数多く提供されます。

<主なスケジュール>

6月11日（月）：デジタルビジネス界のリーダーと政府高官によるディスカッション。参加は報道関係及び「ウェルカムナイト」の出席者に限定。

12日（火）、13日（水）、14日（木）：「d!conomy」、「d!tec」、「d!talk」が予定され、ソリューション・プロバイダーとその顧客にスポットライト。

14日（木）：15日の「オープンデイ」に向け雰囲気を高めるスペシャル・イベント開催。

15日（金）：「d!campus」とその他の一部のエリアが一般向けに開放。

<国際情報通信技術展示会「CeBIT2018」概要>

名 称：CeBIT2018（セビット 2018）

会 期：2018年6月11日（月）～15日（金）5日間 9時00分～18時00分

開 催 地：ドイツ・ハノーバー

会 場：ハノーバー国際見本市会場（Hannover Exhibition Grounds）

来場者数：約200,000人（前回実績・主催者発表）

出展者数：約3000社・団体（約70カ国・地域）（前回実績・主催者発表）

主 催 者：Deutsche Messe AG（ドイツメッセ株式会社）

■ドイツメッセ株式会社について

ドイツ・ハノーバーを本拠地とするドイツメッセ株式会社は、ドイツの見本市主催企業の中で上位5社の位置を占めており、世界中で見本市を行っています。主催する代表的な専門展示会には、CeBIT（情報通信）、HANNOVER MESSE（産業技術）、LABVOLUTION / BIOTECHNICA（実験技術とバイオテクノロジー）、CeMAT イントラロジスティクスとサプライチェーン）、didacta（教育）、DOMOTEX（フロアカバリング）、INTERSCHUTZ（防災・安全）、LIGNA（木材加工・林業）など。100カ国・地域以上に計66の代表事務所、子会社、支店を展開。

【本件に関するお問い合わせ】

ドイツメッセ日本代表部（一般社団法人日本能率協会内）担当：竹生（たけお）、大津（おおつ）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 14F

TEL：03-3434-6447 / FAX：03-3434-8076 / E-Mail: DMS@jma.or.jp